

緑と人に生まれ、ふるさとを愛し続ける清水の子

福井市清水中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	19回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	90人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	45人
登下校支援ボランティア	0人
その他 ()	0人

(3) 特色ある活動

テーマ「 キャリア教育 」

【職場体験】(5月25～27日)

2学年の全生徒を対象に、清水地区内外の27の事業所で、職場体験学習を実施した。生徒は、働くことの厳しさとともに、喜びも感じることができていた。終了後、職場体験発表会を行い体験の共有化を図った。

【保育実習】(6月27、30日、7月6、12日)

3学年の全生徒が家庭科の保育の授業で、校区内の保育園で実習をおこなった。1学級2時間の実習で、最初は緊張していた生徒たちも、次第に園児とも打ち解け、学校とはまた違った笑顔を見せ、優しく園児に接していた。

【達人への道】(9月9日)

専門的な知識を持った地域内外の優れた技能をもつ達人35人をゲストティーチャーに招いて、体験ワークショップを開いた。「着物着付け教室」「極低温の世界体験」等15の講座を開設したが、普段の授業では体験できない内容に、生徒たちは大変興味を持って取り組んでいた。

【ウェルカムプロフェッサーズ】(11月5日)

自分の進路についての意識を深めることを目的として、福井青年会議所の「地域の担い手づくりプログラム」と連携して、今年は当会員43名を招き開催した。生徒は、会員に「仕事の楽しいこと、つらいこと」「仕事の将来性」「職種の適性は」「社会に出て、大切なことは」などの質問をしていた。直接働いている人たちから現場の話聞き、職業への意識を高めることができた。

〈職場体験〉



〈着物着付け教室〉



成果と課題

地域と連携しながら、普段の学校生活ではできないような体験活動を多く取り入れた結果、自分の身近な地域への興味・関心が高まるとともに、職業観や勤労の意識が形成されてきている。一方、「達人の道」「ウェルカムプロフェッサーズ」とも全学年を対象に、毎年行っているが、講師の確保が年々難しくなっており、学年毎の開催も考慮する時期に来ている。

